（第2号様式）

久米島第1834号
平成30年3月27日

沖縄県教育委員会教育長　殿

沖縄県立久米島高等学校
校長　　前三盛　英　明

平成29年度県立久米島高等学校学校評議員について(報告)

平成30年1月4日付け教県第1854号により依頼のありました、みだしのことについて下記のとおり報告します。

記

1　日時、場所、出席状況等

第1回	日時	平成29年7月19日 14:05～16:00	場所	久米島高等学校 小会議室	出席状況	評議員4名中2名出席、2名欠席
第2回	日時	平成29年12月21日 16:00～17:00	場所	久米島高等学校 小会議室	出席状況	評議員4名中4名出席
第3回	日時	平成30年3月23日 16:00～17:00	場所	久米島高等学校 小会議室	出席状況	評議員4名中3名出席、1名欠席

2　学校評議員に求めた事項

・授業及び校内を観察後、学校の課題についての指摘と改善策の助言を依頼。
・本校の現状や課題に対する取組等を報告し、その方策等についての助言を依頼。
・評議員（医師、警察、保育園長、農業）の立場から、学校の活性化に向けた取組への提言を依頼。
・地域住民の立場から地域の活性化や今後の本校への人材育成等の要望や情報等の提供を依頼。

3　学校評議員の意見

・ヘッドフォンをして登校したり、自転車の並列運転するなどが見られるので指導を徹底して欲しい。
・遅刻、欠課が多いが、教師と生徒の信頼関係をしっかり築いて指導を行えば勤怠状況の改善につながるだろう。
・進路関係で久米島高校に警察官の募集をかけたが、応募は4名のみであった。「久米島のために働く」という意識を持ってもらうため、進路の取り組みは早い時期から始めてほしい。
・公立久米島病院の職員のほとんどは島外の方なので、医療系へ進む人材を育成して欲しい。
・久米島高校で何が行われているかわからないので、地元の農家を呼んで出前講座をするなど、地域と高校がコミュニケーションを図ってほしい。

4　学校運営に反映した事項

・授業での始めと終わりのあいさつの統一や授業開始時に身なりの指導を行うことを全職員、全生徒で確認して実践している。交通安全指導や勤怠指導については個別指導のほか、全体集会や学年集会でも指導を行っている。
・総合的な学習の時間の町づくりプロジェクトでは久米島の課題や良い点を見つけ、課題解決や久米島の良い点を発展させるような提案をすることについて取り組んでおり、地元への関心を高める取り組みを行っている。
・園芸科は島内で行われている和牛の初競りを見学したり、先進農家を視察したりしている。また、次年度はホームページも一新し、久米島高校の情報を発信していく予定である。

5　課題その他

・医療系の進学について、医療事務系、介護等の専門学校への進学者はいた。しかし、看護系進学は希望者はいたが、合格することはできなかった。個別の進路指導だけでなく、学力の向上を目指してより一層の授業改善を行い、生徒の進路実現に努めたい。（本校、平成29年3月の卒業生が琉球大学医学科に合格したのは朗報であった。）